

機械器具 (58) 整形用機械器具  
一般医療機器 脊椎手術用器械 70963001

# S a c c u r a (サキュラ) スパイナル システム手術器械

**【禁忌・禁止】**

＜適用対象 (患者)＞  
金属に対して重篤なアレルギーがある患者  
＜併用医療機器＞  
本品は他社製インプラント及び他社製器具器械に使用しないこと。[「相互作用」の項を参照]  
＜使用方法＞  
脊椎外科の脊椎固定術以外への使用 [破損のおそれ]

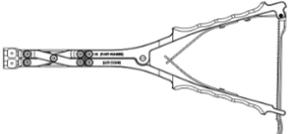
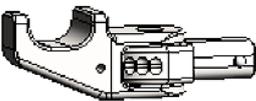
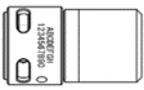
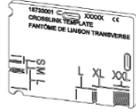
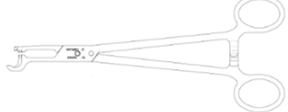
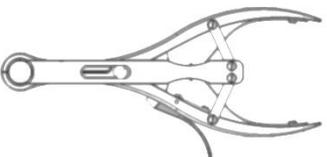
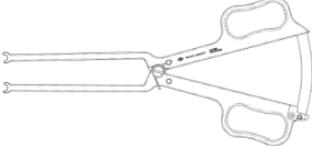
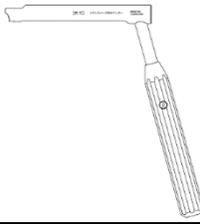
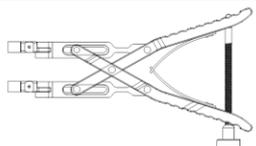
**【形状・構造及び原理等】\*\***

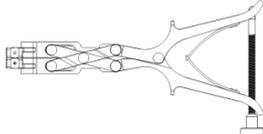
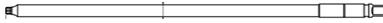
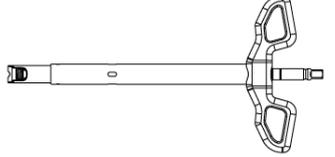
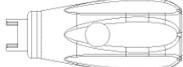
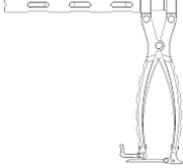
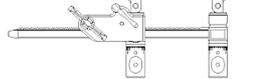
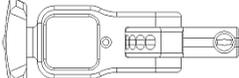
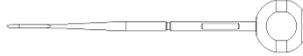
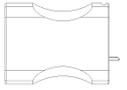
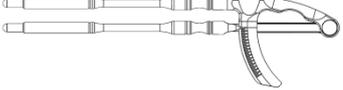
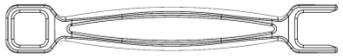
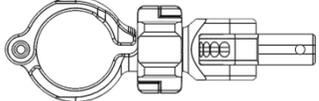
**1. 形状及び構造**

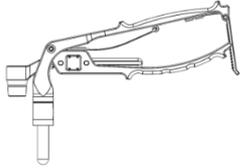
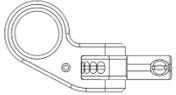
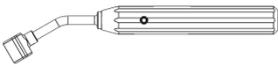
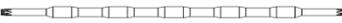
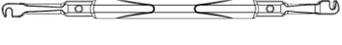
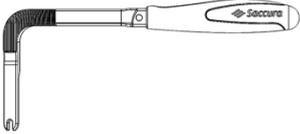
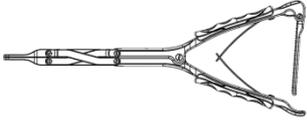
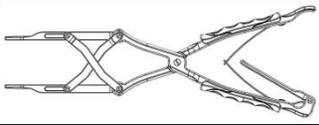
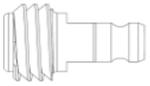
下記の構成品から成る。

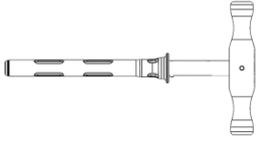
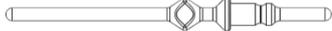
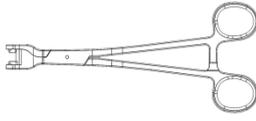
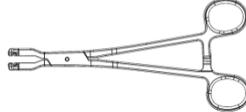
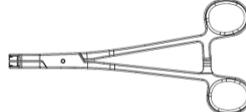
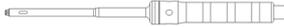
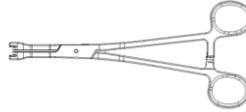
名称	形状 (代表例)
1. ガイドワイヤー	
2. スクリューレンジスゲージ	
3. キャニュレイテッドタップ	
4. タップダイレーター	
5. サウンダー	
6. ラチェットハンドル	
7. T-PAS ドライバー	
8. タブスペーサー	
9. スクリューヘッドアジャスター	
10. T20 ドライバーシャフト (センターリング機能付き)	
11. セットスクリューインサーター	
12. アタッチメントハンドル	
13. T25 セットスクリュードライバーシャフト	
14. MANIP スティック	
15. カウンターハンドル	

16. トルクハンドル	
17. タブリムーパー	
18. ロッドレンジスゲージ 1	
19. ロッドレンジスゲージ 2	
20. フレンチベンダー	
21. ロッドインサーター	
22. ロッドホルダー	
23. パワーロッドホルダー	
24. ロッドチェッカー	
25. テーブルトップカッター	
26. タブコントロールスリーブ	
27. クイックコンプレッサー	
28. MANIP ジャケット	
29. パラレルコンプレッサー	

30.	パラレルディストラクター	
31.	PPS 用先端チップ	
32.	OPEN 用先端チップ	
33.	One Pass リデューサー ／ドライバー	
	One Pass リデューサー ／ホルダー	
34.	トランスバースサイザー	
35.	トランスバースホルダー	
36.	T20 トランスバースドライバーシャフト	
37.	マルチスプレッダー	
38.	クリーニングスタイルット	
39.	トランスバースキャリアパー	
40.	トランスバース用カウンター	
41.	レスキュー用チューブ	
42.	パラレルコンプレッサー [ネジ式]	

43.	パラレルディストラクター[ネジ式]	
44.	T20 ドライバーシャフト (センターリング機能なし)	
45.	抜去用ドライバー	
		
46.	エクステンダー	
47.	エクステンダー固定用ハンドル	
48.	ロッドリデューサー	
49.	ロッドリデューサーワンハンド	
50.	ディストラクターコンプレッサー/ ラック	
51.	ディストラクターコンプレッサー 先端アーム	
52.	キャニュレイトッドプロープ	
53.	タブ折り台	
54.	PAS ドライバー	
55.	ロッドレングスゲージ Ex	
56.	セットスクリュウインサーター Ex	
57.	T25 ドライバーシャフト Ex	
58.	カウンター ハンドル Ex	
59.	ディストラクターコンプレッサー/ 先端アーム Ex	

60.	クイックコンプレッサ-Ex	
61.	PS 間ディストラクター用先端アーム/タブスクリュー	
62.	PS 間ディストラクター用強化シャフト/タブスクリュー	
63.	PS 間ディストラクター用強化カウンター/タブスクリュー	
64.	オウル	
65.	プローブ/テーパードチップ	
66.	スクリューヘッドアジャスター/OPEN	
67.	T25 リテイニングドライバー	
68.	T25 リテイニングドライバー/ダブルエンド	
69.	インサイチューベンダー	
70.	フロントルベンダー	
71.	ロッドブッシャー	
72.	パラレルディストラクター/OPEN	
73.	パラレルコンプレッサ-OPEN	
74.	T25 ドライバーシャフト/OPEN	
75.	PS 間ディストラクター用先端アーム/OPEN	
76.	PS 間ディストラクター用スクリュー-OPEN	

77.	T 型インサーター	
78.	PS 間ディストラクター用強化シャフト/OPEN	
79.	ベディクルマーカ-	
80.	ロッドローテーションレンチ	
81.	ロッドフォーク クランプ	
82.	PAS ドライバー-Ex	
83.	カウンタートルク	
84.	インプラントホルダー	
85.	コネクターホルダー	
86.	ベディクルマーカ-ハンドル	
87.	ロッドコネクターホルダー	
88.	仙骨穿孔器	
89.	ストレートプローブ	
90.	ディストラクターコンプレッサソケット	

2. 原材料 (血液、体液又は粘膜に直接接触するもの)  
ステンレス鋼、チタン合金、ニッケルチタン合金、ポリフェニル  
スルホン

【使用目的又は効果】

脊椎固定術等の脊椎手術のために用いる再使用可能な手動式の手術器械である。

### 【使用方法等】

下記の使用方法是脊椎外科の一般的な使用方法の例示である。詳細な手術手技については手技書等を参照すること。また、本品使用前には必ず滅菌してから使用すること。(詳細は、[保守・点検に係わる事項]滅菌方法の項、参照。)

#### 【例示1：OPEN手技】

1. スクリュー刺入孔を作成
2. ポリアクシャルスクリューを刺入
3. ロッドをスクリューヘッドへ設置
4. セットスクリューをスクリューヘッドへ設置
5. 最終締結
6. 必要に応じ、トランスバースコネクターをロッドに設置

#### 【例示2：MIS手技】

1. X線透視下にて、ガイドワイヤー設置
2. X線透視下にて、ガイドワイヤーに沿ってタッピング
3. X線透視下にて、ガイドワイヤーに沿ってポリアクシャルスクリューを刺入
4. ロッドをタブ間から挿入
5. X線透視下にて、ロッドの位置を確認
6. セットスクリューをスクリューヘッドへ設置
7. 最終締結
8. タブ切離

注) 本手術器械は、【形状、構造及び原理】欄に記載の構成部品を適宜組み合わせ使用すること。

### 【使用上の注意】

#### 1. 重要な基本的注意

- (1) 本品使用前に目視点検等を行い、著しく変形及び摩耗している場合は、破損のおそれがあるため使用しないこと。
- (2) インプラントのサイズ選択時には、本品に表示されている目盛を目安として、医師の判断のもと慎重に選択すること。
- (3) ガイドワイヤーやタブ等の特に軸径の細い器械を使用する際には、無理な応力を掛けた操作を行わないこと[変形・破損のおそれがある]。

#### 2. 相互作用

併用禁忌

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
他社製インプラント 他社製器具器械	正常な機能が得られないおそれがある	操作上の整合性が確認されていない

#### 3. 不具合・有害事象

- (1) 重大な不具合
  - ・変形
  - ・破損
  - ・変色
  - ・腐食
- (2) 重大な有害事象
  - ・組織等の損傷
  - ・感染症
  - ・折損及び破損片の体内遺残

### 【保管方法及び有効期間等】

使用期限：不良な点（変形、傷、金属部分のサビ等）が認められたとき。

### 【保守・点検に係わる事項】

#### 1. 洗浄方法

- (1) 組み合わせて使用したものの、取り外しのできるものは全て取り外した上で洗浄すること。
- (2) 中性の酵素洗剤を使用し、柔らかいスポンジ、ブラシ等を用いて洗浄すること。
- (3) 脱イオン水を使用し、十分にすすぎ洗いをすること。
- (4) 血液、洗剤等異物が付着していないことを確認すること。

#### 【注意】

苛性ソーダ、ホルマリン、グルタルアルデヒド及びブリーチを含む洗浄液やその他のアルカリ性、酸性洗浄剤は使用しないこと。

#### 2. 滅菌方法

高圧蒸気滅菌を「ISO/TS 17665-2で推奨されている条件<sup>※2</sup>」もしくは「医療機関で担保された条件」に従い、実施すること。

※2： 121° C / 15min、126° C / 10minまたは 134° C / 3min  
(処理温度 / 最低時間)

#### 【注意】

変性や劣化が生じるおそれがあるため、135° Cを超える温度を加えないこと。

#### 【注意】

感染症を有する患者及びその疑いのある患者に使用した器具を再使用する場合には、確実な滅菌を徹底すること。特に、クロイツフェルト・ヤコブ病患者、又はその疑いのある患者に使用した場合は、最新の国内規制及びガイドライン等を遵守すること。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

・製造販売業者

帝人ナカシマメディカル株式会社

TEL. 086-279-6278(代表)